

| | | | | | |
|------|----------------------|-----------|-------------|------------|------|
| 講義名 | 中国語リスニング(G S P 生用) | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 関 梅 | 開講期・曜日・時限 | 後期 火曜日 2 時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2 年生 |
| | | | | ナンバリング・コード | |

主題と概要

この科目は中国語A/B(グローバル)を履修済みのGSP生を対象とします。
 この科目の内容は、中国語の「読む、書く、聞く、話す」の中の「聞く、話す」に重点を置いて、中国語のリスニングの力を伸ばしていくことをメインとします。
 この授業では、中国語の発音を確認しながら、短文の音読トレーニングを行い、長文については、ディクテーション形式でリスニングのトレーニングをし、その内容を聞き、理解できるようにします。
 この講義を受講することにより、中級中国語以上の会話や長文を聞き、おおよその内容を理解することができるようになり、目標としては、HSK(中国語レベル測定試験)3級レベル以上のリスニング力身につけることです。

到達目標

この講義の到達目標は中国語検定試験3級・HSK3級レベルです。
 具体的には以下の通りです。
 簡単な会話の聞き取りができ、その会話についての質問に答えることができるようになる。
 長文のディクテーションを完成させ、その内容を理解し、更にその内容についての4択問題を解答できるようにする。
 長文の音読ができるようになる。

提出課題

毎回、授業中に行ったリスニング問題のトレーニングペーパーの提出を求めます。
 次週の授業までにHSKについての課題を完成させ、提出してもらいます。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

提出した課題については、解答を行った後、受講者に自身の結果について確認させます。
 最後に、受講者に共通する問題点について、重点的に復習をします。

評価の基準

本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。
 具体的な割合:
 ・平常点(授業中の受講態度、課題の提出、小テスト)30%
 ・中間テスト30%
 ・期末テスト40%
 詳細については初回の講義の際に、教室で説明します。

履修にあたっての注意・助言他

この講義は半年以上の中国語学習経験が必要です。
 また、受講の際に注意な取り組み、授業中の積極的態度は大いに評価します。
 また授業外での予習復習は欠かせないため、怠ることなく努力しなければいけません。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

適宜、授業中に資料を配布し、課題については本学のポータルなどを通じて資料を配布する。

授業計画

- 1.ウォーミングアップ・学力レベルチェック
- 2.音読・リスニング
- 3.復習・ディクテーション
- 4.復習・音読・リスニング
- 5.復習・ディクテーション
- 6.復習・音読・リスニング
- 7.復習・音読・リスニング
- 8.中間まとめ&テスト
- 9.HSKリスニングトレーニング
- 10.HSKリスニングトレーニング
- 11.HSKリスニングトレーニング
- 12.HSKリスニングトレーニング
- 13.HSKリスニングトレーニング
- 14.HSKリスニングトレーニング
- 15.模擬テスト&解説

授業形態(アクティブ・ラーニング)

| | | |
|--------------------------------------|-----------------------|--|
| ア:PBL(課題解決型学習) | <input type="radio"/> | イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) |
| ウ:ディスカッション、ディベート | <input type="radio"/> | エ:グループワーク |
| オ:プレゼンテーション | <input type="radio"/> | カ:実習、フィールドワーク |
| キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) | | |

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

本講義はHSK4級を目指すため、授業外での努力は欠かせません。
 その内容として:
 1. 毎回の授業の後に、授業に行ったトレーニング問題を復習する
 2. Moodleにアップした過去問題一回分の音声聞き取る
 3. 次の過去問題を事前に回答しておく
 4. HSK4級の単語の確認をする
 以上の勉強をするには、毎日1時間以上の学習時間を確保する必要があります。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、法学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成業の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

本講義では基本的にICT活用をして授業を進めていきます。
 具体的には、アクティブ教室で講義を行い、音声はPodとコードレススピーカーを使用します。
 リスニングの内容や文法説明については教室にあるプロジェクターを利用します。
 宿題としてのリスニングの音声ファイルの配布はMoodleを使用します。

実務経験の有無及び活用

備考

受講者の習得状況に応じて授業の進度を調整します。